

## 全国から寄せられた同性パートナーシップ制度への声 (網掛け部分は島根関連の方)

そこで終了ではなく、あくまで同性婚へのステップとして考えます。生活する上で法的効力が欲しいという場面が多々ありました。そして何よりまだパートナーシップ制度ができない地域があるのでまずそこからなのかな... パートナーシップよりも結婚がしたいです。

制度を利用しても相手側（店舗や医療機関等）の印象、都合で意味のないものになる可能性もある為パートナーシップ制度という名称だけが一人歩きして中身がない、抽象的な制度で意味がないなと感じました。

同性のパートナーが居る、と存在を国や行政が認めてくれた、居ないものとしなくなったという点では凄く良い制度だと感じています。いつか、パートナーシップ制度が同性婚法制化への足掛かりになればいいなあと思っています。

同性婚が法的に認められるようになるために必要なものだと思います。同時に「パートナーシップで十分ではないの？」という批判的な意見の材料にもなる諸刃の剣のような制度だとも思います。

はっきり分かる形として家族と同程度に守られる為の制度って印象 同性婚が認められていない現状ではパートナーシップ制度はありがたいまだ導入されてないところが多いから、それすらも出来ないのが悲しいですね

出来れば同性婚がしたいです。

5年以内を実現する同性婚のステップとして、現在の必要な権利を補う手段としてなら賛成。

同性パートナーシップも同性婚も選択できるようになるのが一番ではないかなと思っています。がんじがらめの制度が合ってる人とそうでない人がいるので。という意味で、パートナーシップ制度は必要かなと思います

いいとは思うけど、恋愛云々関係なく人数制限も無い「家族制度」みたいなのがあったらいいなって思う。そしたら“結婚願望はないけど、1人だと将来不安”って言う人とか、色々な人が幸せに暮らせるようになると思う。

逃げの政策として利用されてる面もあると思います。主に立法権のない地方公共団体での出来事ではないため。

世の中の理解が深まっているなと感じられて嬉しい！

制度の内容を全員で共有できる場、説明会などがあると周知できるのでして頂きたいです

パートナーシップをより全国に広げていただきたいです

誰でも平等にあるべき幸せだと思うのでこれからもっと広がってほしいです

導入されることによって『同性婚』とかLGBTを知ろうとしてくれる人が増えると思います！

個々の自治体が動くことも大事ですが、国として同性婚を進めてほしいです。ただ、その足がかりとしてパートナーシップ制度の導入をして、その先にはきっと同性婚にむけて法整備が進むんだと期待しています！好きな人と一緒になりたい。ただそれだけなんですよー！

パートナーシップができれば嬉しいしオープンに生きていける人が増えていくことを願います

パートナーの入院時、家族以外面談禁止の時に、制度を結んでいれば会えるようになれば幸いです。

パートナーシップ制度が出来て当事者たちによるデータをたくさん作ることによって同性婚などの制度がもっとスムーズに進められるのかなあと思いました！

同性パートナーシップ制度は、ゼロをプラスにする制度ではなく、マイナスをゼロにする制度。異性パートナーに認められている権利が同性パートナーに認められていない現状を、“当たり前”だと行政が肯定しないでほしい。

私は、いつまでも前向きな議論がされない島根に嫌気がさして県外に引っ越しますし、同じような話をたくさん聞きます。LGBTQの人がいないと思っているなら、それは島根が安心して住めるような環境ではないということ。

子どもが生まれることも、生まれた子どもが幸せに生きることも、様々な形の家族や子育てが肯定されることも、同じように大切なはず。フィンランドの首相は同性パートナーの家庭で育ちました。出生率に注目するのと同じくらい、多様な家族の形を否定しないことにも力を入れてほしいです。

私が子どもの時にも同性婚や同性パートナーシップが当たり前にある世界に生きていたら、未来はもっと輝いてみえていたと思います。男女の結婚制度しかない世界は、私にとって一生ひとりで生きていくことを覚悟させ、将来に絶望的な気持ちを抱かせるものでした。

性別関係なく信頼できる大切な相手とパートナーを組んで堂々と生きていける、そんな普通の光景を私はずっと夢見ています。色々な人が暮らしているのだから、選択肢は複数あっていいと思います。

感情的なところでは、やはり安心感は出ると思います。

住む場所によって認められる認められないがあるのが本当はおかしいですし。

私はもちろんLGBTQとしてパートナーシップ制度が出来てくれたら嬉しいです。

同時に、これからの時代、友人同士で住むシェアハウスとか年を取ってから助けあって住むケースとかあるとしたら、そういう人にも気軽に使える安心の制度になっていけば、それは誰にとっても住みやすい場所になるんじゃないかなと思っています。

その上で、本当は同性パートナーについてはパートナーシップではなく、本当の意味での同性婚が認められることを願っています。

私は正直なところ、自治体ごとの制度ではなくて国に一刻も早く同性間の婚姻を認めて不平等を解消してほしいと思っています。

けど、現状の憲法ではそれは難しいとも考えているので、各自治体がこうしてパートナーシップの制度を導入することで、そこから改正の動きへの後押しになるといいなと思います。

制度を必要としている当事者のカップルはその制度の有無で住む場所を検討しなくてはならないので、山陰の自治体が入ることでUターンや移住の可能性が生まれると思います。

私個人としても、導入されることで実家の両親のLGBTへの見方や考え方が少しでも変わることが期待します。

私はパートナーが居ないしこの先出来るかもわからんしずっとひとりでいるかもしれんけど、自分が住みたいと思った街にパートナーシップ制度が導入されたら、ここで暮らしていいんだと自治体に認めてもらえた気がして安心するし、この先もずっとここで暮らしたいと思えると思う存分多様性が認められつつある時代だからこそ、これから声を上げるセクマイさんもまだまだ居ると思うから、単純に人口増えて自治体にも良いことだと思うし、どうせいつか導入するなら早いほうが自治体の本気を感じるし心強いなと思える。

いつか導入するなら今したほうがいい、それがその地で暮らすセクマイさんはもちろん、その人を大事に思ってる人をどれだけ励ましてくれるか。

同性婚は正直まだまだ先のことになると思うけどパートナーシップ制度を導入する自治体が増えることは、同性婚が認められる未来を少しでも早めてくれるものだと思う。

私自身は結婚するかもパートナーができるかもわからんけど、もしかしたら一生一緒に居たいと思うパートナーに出会うかもしれないから、未来の自分に選択肢を増やしたいから制度が導入されている街に永住したいなと思う。

最近、LGBTQ、SOGI等についていろいろな記事を読むようになりました。私はどちらかという当事者ではなくアライの立場で読んでいたのですがほんとうにいろいろな生き方、考え方があって記事に出てくる方たちは当然その境地に至るまでには様々な苦労、経験を経てのことだと思いますけどキラキラしている様子が伺えてうらやましくなりました。同性パートナーシップ制度はこのキラキラを推進していく制度のひとつだと思います。

島根県は制度の導入に積極的でないということを知って大変残念に思っています。マイノリティだから蔑ろにされていい訳がありません。県民ひとりひとりが自分らしく生きていける世の中をつくる、そのためには同性パートナーシップ制度は必要不可欠な制度です。既に38都道府県のどこかの市町村で導入されています。積極的に活動されている当事者の方がいるにもかかわらず導入に消極的なんてはや人権が尊重されない県といっても過言ではありません。自分が住んでいる県にそのような失望は抱きたくありませんのでどうかまずは松江市の方に前向きに検討いただきたいと思えます。

同性パートナーシップ制度は、人権の問題であることは言うまでもないが、自治体として導入するメリットとしないデメリットをよく考えるべきだ。先駆的に制度を導入すればモデル自治体として胸を張れるが、最後の最後まで導入をしないしていると反対に後ろ指をさされることになる。政策ニーズと時代の流れに対応しなければこれからの時代は自治体として生き残れない。

変革の時代であることを理解して欲しい。